



鹿折まちづくり協議会の事務所が移転しました

- 新事務所:西みなと町西八幡町公会堂 (旧水道事務所の奥)
- 営業時間:月～金 10:00～18:00
- こんな活動を行っています:
 - ✓ まちづくりサロンや様々な住民会合
 - ✓ 行政への提言、折衝
 - ✓ まちづくりの具体的な活動
 - ✓ 復興情報の収集/提供
 - ✓ まちづくりの各種相談



地域の取り組みを紹介していきます

自分達の住む地域を自分達で良くする！鹿折では、地域の自治会や企業・個人など様々な主体が地域のための色々な取り組みを行っています。今回の通信からそういった事例を紹介していきます。

第一回目は、西中才振興会(菅原哲男会長)が今年5月に行った、地域でのベンチ設置についてです。散歩中の人や下校中の子どもたちが道端で一休みできるように、手作りの木製のベンチを地域の6か所に設置しました。西中才は人口が増えている地区。新しく転入してきた人達とも自然と交流の輪が広がり、住んで楽しい地域にしたいというのが狙いだそうです。設置後、たとえば貝塚の看板前のベンチでは、幼稚園バスを待つおばあちゃんや近所の人達が集まっておしゃべりする、たまり場のようになっています。



3年前から自治会の中でそういった声があったのを、この度思い切って実行に移したそうです。費用は自治会が積み立ててきた設備費を当てました。今後も、災害時のための備えや、フラワーロードを作りたい、といったアイデアも女性達を中心に出ているそうです。

鹿折復興盆踊り大会が盛大に行われました！

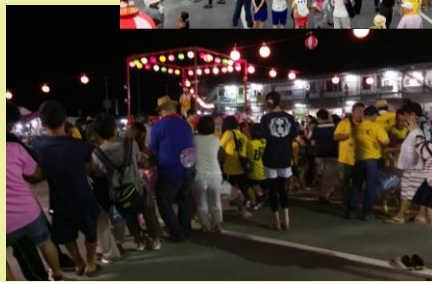
8月11日(木)、鹿折復興盆踊り大会が鹿折復興幸マートにて盛大に行われました。当日は、鹿折の「まちびらき式」や「歓迎式」が行われ、市長をはじめとする来賓の方々に祝辞を戴きました。

その後、ステージショーや歌手ティーナ・カリナさんのミニライブがあり、「まつり」の曲で盛り上げて下さいました。また、中才打囃子の太鼓と浪板虎舞の勇壮な共演に、獅子が天高く梯子を登っていく姿に来場者も大感激。そして、LIGHT UP NIPPONによる花火の打ち上げに皆さん見入ってました。そして盆踊りでは「炭坑節」「はまらいんや」などの曲を輪になって踊りました。浴衣姿の女性が多く華やかな雰囲気でした。

そしてクライマックスは大綱引き！一度は津波で流された、震災前かもめ祭りで使われていた大綱を引っ張り合いました。参加者にはクジ付きティッシュが配られ、当選者には協賛企業からいただいた豪華景品が与えられました。

お祭り後、実行委員会を開催し今回の振り返りを行いました。鹿折に戻って来てよかったという声から多く聞かれたこと、地域が一体となってまちを盛り上げていくという一体感が感じられたことなどが話されました。また、来年に向けての改善点も話し合われました。なにしろ初めての開催。準備には様々な苦労がありましたが、お祭り後は「来年はもっと良くしよう」という気概に満ちていました。なお、実行委員会では今回の収支報告と、残高の用途についても話し合われました。右表の通りです。

石碑と熊本支援募金を頂いた皆様、ご祝儀・ご協力を頂いた皆様、そしてご来場頂いた皆様、誠にありがとうございました。



単位:円

収入	1,538,261	
補助金	783,031	宮城県 地域コミュニティ再生支援事業(予定)
ご祝儀	531,000	103の団体・個人様より
売上	224,230	Tシャツ、出店、手ぬぐい、バザー、似顔絵等
支出	1,295,385	印刷、消耗品、機材、出店材料、御礼、運営費等
差引	242,876	
石碑	50,000	津波記憶石建立 寄付
繰越	192,876	次年度復興盆踊り大会

石碑募金	18,929	津波記憶石建立
熊本募金	10,653	熊本地震の被災者義援金として熊本県に寄付

アメリカ・ポートランド市の視察レポート

小山睦史

8月18日(木)～23日(火)、気仙沼市の「魅力創造まちづくり調査事業」として行われたポートランド視察に、鹿折まちづくり協議会より推薦をいただいて参加してきました。

オレゴン州ポートランドは、アメリカ北西部に位置する都市です。気候も温暖で、都市の周囲は自然に囲まれており、都市中央には大きな川が流れ、自然と親しむことができるまちとして有名です。

今回の視察は、「全米で最も住みよいまち」と呼ばれるポートランドのまちづくりがどのように行われているのかを学び、気仙沼のまちづくりに活かすことが目的となりました。



◆まちを支えているのは「ローカルファースト」

ポートランドは地元消費の取り組みがとても熱心に行われています。毎週土曜日には地元の農家や畜産家が自前の野菜や果物、ハムなどを販売する巨大な露店市が開かれますし、郊外に行けば個人経営の独創的なお店がたくさん立ち並んでいます。こうした取り組みは「ローカルファースト（地元第一主義）」と呼ばれ、全国規模のチェーン店よりも地元のお店で、地元で作られた製品や食品を好んで買うポートランドの気風だと言われています。地元志向の活動が盛んなことが、ポートランドのまちづくりを支える大きな土台となっていると感じました。

◆まちづくりは、徹底したディスカッションで決める

ポートランドのまちづくりは、たくさんの時間をかけたディスカッション（議論）によって進められます。視察先でお話を伺った方が「ポートランド住人はまちづくりオタクだ」と評するほど、ポートランドのまちづくりには行政や企業、地域住民といった多くの方が参加し、様々な意見を出し合います。もちろん、意見の対立やぶつつけ合いもあるそうですが、ディスカッションの調整役が必ずいて、公平かつ専門的な立場からアドバイスをしたり、アイデアを提供したりしてくれます。こうした活発な議論によって参加者全体が納得できる意見を作ることが、まちづくりにおいて最も大事なことであると学びました。



◆まちづくりは「自分がもっと良い暮らしをしたいため」に行うもの

ポートランドの住民がディスカッションに参加したり、まちづくり関わったりする理由は、彼らが自分の暮らしをもっと良いものにしたいと考えているからです。そのため、ポートランド住民はまちづくりのディスカッションでは積極的に意見を出します。個人の熱意が、まわりまわってまち全体の良さにつながっていくのは、まちづくりの意義深いところだと思います。

4泊6日のポートランド視察は、様々なところを見て、様々な方から話を聞き、途中近隣のシアトルへも足を延ばしたりもしました。ここで述べたこと以外にもたくさんの学びがありましたし、多忙な視察でしたが、非常に有意義なものとなりました。また、今後気仙沼市役所のホームページで参加者全員の視察レポートが公開されますので、興味のある方はぜひご覧ください。



海外の行政官達との意見交換

9月8日(木)、JICAの「総合防災行政」研修で来日した海外の行政官達がまち協を訪問しました。中南米・太平洋諸島・アジアの10カ国から集まった14名と、鹿折まち協役員や構成員らで、通訳を介しながら意見交換を行いました。住民目線のまちづくりや防災についてこちらの取り組みを紹介しつつ、「防災コーディネーターを地域で配置している（ジャマイカ）」などの先方の取り組みの紹介もあり、双方にとって勉強、刺激になりました。

～鹿折地区の復興状況～

かもめ通り 商店街

お買いもの歩道

【斉清魚店】

9月5日オープン！



お買いもの歩道

【オオサワヤ】

9月13日オープン！



【お食事処塩田】

10月初旬オープン予定



【斉新米店】

9月28日オープン！



【佐川写真館】

12月以降オープン予定



【鹿折川河川堤防工事】



バイパス付近の護岸整備には環境保全型ブロックが採用

【防災集団移転団地】 (鹿折北)



住宅建設が着々と進んでいます

【マイヤ】

2017年1月オープン予定



14.防災集団移転促進事業(鹿折北地区)

【浜港線(一部)】



【幸楽苑】

10月24日オープン予定



【ローソン】

10月13日オープン予定



7.気仙沼唐桑線整備事業

8.気仙沼漁港水産加工施設等集積地基盤整備事業(道路)
気仙沼漁港水産加工施設等集積地整備事業(用地)

【鹿折公民館】軽運動場、会議室、研修室、調理実習室、コミュニティホールなど。2017年度建設開始、2018年度供用開始を想定

【下水ポンプ場】

外周フェンスの緑化作業が9月末に開始予定



【市民福祉センター】

12月工事終了、2017年4月供与開始。多目的ホール、栄養指導室、介護予防活動室など。愛称が公募されます



【市営鹿折南住宅】

7月29日に1工区、9月30日に2工区入居開始



【浪板橋工事】



【街路樹】
検討会で一番人気だったコブシで調整中

11.街路整備事業((仮称)本浜町線)

12.気仙沼漁港(浜町)海岸災害復旧事業

地上エリア
計画 TP+3.0~+5.5m
現況 TP-0.1~+4.2m
低地エリア
計画 TP+1.8m~
現況 TP-0.4~+1.5m

【鹿折復幸マート】

8月末で閉店

* 地図: 気仙沼市HP(復旧・復興にかかる全体図)より

【お役立ち情報】

ここでは、まちづくりの話し合いの中で出てきた疑問や不安点について、行政等が提供している情報を載せます。（このほか、知りたいことがあればなんでもお寄せ下さい）。

Q：防災行政無線が聞き取りにくい所があります。

A：気仙沼市では防災行政無線のテレホンサービスを行っています。フリーダイヤル0120-26-9119に電話すると、防災無線で1時間以内に放送された内容や、火災や津波などの注意報・警報などが聞けるようになっているとのことです。

Q：ひとり暮らしのお年寄りが多く、心配です。

A：概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者、及び、ひとり暮らしの重度障害者の方は、市が提供している「緊急通報システム」を利用できます。急病などの緊急事態が発生した時に迅速な救援が行われることを目指した仕組みです。緊急の場合に駆けつけてもらえる協力員3名を確保できること、固定電話の利用が可能なこと、が条件となっています。機械貸出は無料。お問い合わせは気仙沼市保健福祉部高齢介護課まで(0226-22-6600、内線402、403)

今後の行事のお知らせ： ～お気軽にご参加ください～

※ 毎週火曜日・夜（10月4日、11日、18日など）19:00～20:45：構成員会合
於 鹿折まち協事務所（西みなと町西八幡町公会堂）

★20:45から英会話教室（英会話のみでも参加可）

※ 10月2日（日）8:30 鹿折地区市民運動会 於 鹿折小学校

※ 10月16日（日）14:00～15:30：ポर्टランド視察報告会 於 鹿折まち協事務所

小山さんが海外のまちづくりの事例で見えてきたことを話してくれます。ぜひ聞きに来てください



活動メンバー募集！

鹿折でいま何がどうなっているのか知りたいという方や、専門的なことは良く分からないけど地域のことをよくしたいという方。まずはサロンや構成員会合などの見学に来てみてください。

鹿折まち協構成員 尾形健浩さんからのメッセージ

構成員会合に参加したきっかけは所属するスポーツ振興会の先輩に誘われてでした。構成員会合は、いい意味でゆるく、鹿折のまちのために激しく議論するというよりは、些細なこと、くだらないことでも話せるのが良いと思います。楽しく、臆せずに会合に参加できています。

最近はずっと鹿折復興盆踊り大会の準備で大変でしたが、楽しかったです。自分は「製作班」としてお祭りで使われた様々な製作物やグッズをつくりました。今年やった経験値を生かして、来年のお祭りはもっと良くしたい。今後は、これから戻ってくる人や新しく鹿折に来る人含めて、色々な人を巻き込んで楽しい行事やイベントに関わっていきたいと思います。

鹿折というと市街地だけと思われがちですが、浦島や上鹿折など含めすべて鹿折です。被災地の復興だけでなく、前からある地域の課題にも目を向けていけたらと思うので、ぜひ今後、浦島や上鹿折の方にももっとご参加いただきたいと思います。

当まちづくり通信は、気仙沼市のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.kesennuma.lg.jp>

トップページ⇒ジャンル別メニュー「都市計画・まちづくり」⇒「まちづくり」から

* Facebookで鹿折の復興状況についてアップデートしています。「鹿折まちづくり協議会」で検索し「いいね」を！

* メール：shishiori14@gmail.com

* 電話：080-4510-3395

